
世界 ~ limitless

刹那

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界 ｝ l i m i t l e s s

【Nコード】

N 7 7 0 4 P

【作者名】

刹那

【あらすじ】

世界は白かった。 その世界はたった一人の世界でつぎつぎと変わりゆく少年少女。 儚く散るその姿は無限の因果を結合させる。

少年は歩いていった。

でもどこを歩いているのか分からない。
見えているのは真っ白な風景。

食い込む足場の正体は分からない。

ただ、歩くだけ。

足を止めることなく、ただ進み続ける。

どれだけ進んでも広がる景色は白。

だが、そこに一人の少女が蹲っていた。

少年は警戒しながらも少女に近づき、声をかけた。

「大丈夫？」

その言葉に少女は顔を上げ、泣きそうな顔をする。

少年が戸惑うのもつかの間、少年は少女に抱きしめられた。

少女が言うに、ここは‘私だけの世界’らしかった。

自分以外は存在せず、ただ悲しみだけが充満する世界。

少年は少女を抱きしめ、言った。

「もう、一人じゃないよ……。僕もいるから」

「……ありがとう」

少女は抱き返し、涙した。

その後、少年は色々教えてもらった。

地面に敷き詰めているのは‘雪’だと。

この世界は平らだと。

ほんとに色々教えてくれた。

少年はそこであることを思いついたのだ。

「この世界から抜け出そう！ 世界が平らならその先にはまだ見たことのない世界があるかもしれない」

少女は何かを言おうと口を開いた、が言つのを止め小さく頷いた。

ずっとずっと歩き続けた。

世界は白しかない。

少女は苦しくなってきたのだ。

分らない。

ただただ苦しく。

その場に崩れ落ちる。

少年は少女を抱き起こす。

少女は苦しそうに息をしていた。

「しっかりして！」

「……この世界には……先はない。でも、あなたの真摯な気持ちを
つぶしたくなくて……ごめんなさい」

少女は謝り、そして雪の一部と化した。

少年は失望し、その場で蹲った。

時は流れ、世界は白。

蹲る少年に近寄る少女がいた。

そしてその少女は少年に語りかけた。

「大丈夫？」

と……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7704p/>

世界 ~ limitless

2010年12月31日21時01分発行